

第2回東アジアユース競技大会 キョルギ日本代表選手選考基準

1. 本基準の目的

第2回東アジアユース競技大会(8月：モンゴル/ウランバートル) (以下、「本大会」という。)におけるキョルギ種目の日本代表選手選考について次のとおり定める。

2. 選考実施日・選考手続

- (1) 第2回東アジアユース競技大会 キョルギ日本代表最終選考会を実施する。(選考実施日は6月11日(日)とする。)
- (2) 強化委員会は、選考実施日に本選考基準に従って代表選手の選考を実施し、強化本部の承認を得て、その結果を理事会に上程する。
- (3) 理事会にて、本選考基準に則して選考されているか審議し、確定する。

3. 選考基準

(1) 選考対象者

選考対象者は、次の①から⑦の全てを満たし、且つ⑧もしくは⑨に該当する者とする。

- ① 当協会に個人会員として登録されている日本国籍を有する者
- ② 本大会でメダル獲得を目指せる日本テコンドー界の期待に応え得る競技力を持つ者
- ③ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守している者
- ④ その心身の健康状態等に照らし、第2回東アジアユース競技大会に参加できる者
- ⑤ 当協会の強化計画を優先して活動できる者
- ⑥ 国技院の段取得者(申請中も可とする)
- ⑦ 本大会の参加可能年齢を満たすもの
(15～17歳 2006/01/01～2008/12/31 生まれ)
- ⑧ 第7回全国少年少女選抜テコンドー選手権大会(2023年2月26日：愛知県武道館)において1、2位入賞者
- ⑨ 第19回アジア競技大会 キョルギ日本代表最終選考会(2023年2月26日：愛知県武道館)において1～3位入賞者

※⑧と⑨については、本選考会の出場階級を任意に選択できる。

(2) 選考階級

JOCにより派遣が認められた選手数(6枠)、各階級における選手層や国際競技力等を考慮し、次の階級を選考し、派遣する。

日本代表選手選考階級

男子キョルギ： -48kg 級、-55kg 級、-63kg 級

女子キョルギ： -44kg 級、-49kg 級、-55kg 級

(3) 選考方法

原則として、選考階級 1 位のものを日本代表選手に選考し、2 位のものを補欠選手として選考する。

但し、女子-49kg 級の代表選手に関しては、第 12 回アジアジュニア選手権日本代表選考会を同時に開催することから、アジアジュニア選考会女子-46kg 級の 1 位の選手にも本大会出場権獲得の機会を与えることとし、女子-46kg 級よりも 1 階級重い女子-49kg 級の代表決定戦を実施して、その勝者を本大会日本代表選手、敗者を補欠選手として選考する。

4. 留意事項

選考対象者の要件の事後的検討の原則禁止

選考実施日後に、選考対象者が前記 3.(1)①から⑥いずれかに該当しない ことを理由として選考対象から外すことはできない。

但し、当該選考対象者が故意又は重大な過失により、前記 3.(1)①から⑥に係る事実について申告をせず、または虚偽の申告をした場合はこの限りではない。

5. 選考に関する不服申立

選考について不服がある場合、選考対象者は、スポーツ仲裁規程に従って、不服を申し立てることができる。

6. 代表選手の指定解除

下記①～⑥に該当した場合、強化本部及び理事会の決議を経て、代表選手の指定を解除する。ただし⑥については、理事会での決議は不要とする。

- ① 当協会の強化計画を優先した活動ができない場合
- ② 正当な理由なく強化方針及び指示に従わない場合
- ③ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程違反を犯した場合
- ④ 代表選手として不適切な言動や行動を行った場合
- ⑤ 怪我や疾病により第 2 回東アジアユース競技大会に参加できなくなった場合
- ⑥ 代表選手本人から指定解除の申し出があった場合

以上